

事務事業評価シート(総括表)

事務事業	105	道路の改良					
章	3	安全で快適な、みどりのあるまち					
大項目	03	快適な生活環境づくり					
施策	02	人にやさしい道路、交通施設の整備					
事業内容							
目的	道路の舗装構造のレベルアップや副員構成を変更することによって、安全かつ快適な道路空間を形成し、併せて景観の向上を図ります。						
対象・手段	対象：区道 面積：1,742,933.25㎡、延長：290,790.52m〔平成18年度4月1日現在〕 手段：道路構造及び舗装構造の改良、舗装のカラー化、歩道の拡幅						
成果(事業が意図する成果)							
道路の改良は、道路の機能保全はもとより、機能の向上のための改良を進めて、さらに沿道にとっての良好な道路空間を提供します。具体的には、歩道の拡幅やカラー舗装などを行い、安全で快適な歩行空間を創出します。また、排水性(低騒音)や透水機能を持った舗装によって、環境負荷の軽減が図られます。							
事業成果指標							
指標名		定義			目標水準		
平成14年度から平成19年度までの目標達成状況		平成14年度から19年度までの計画路線数			(平成19)年度に (28路線実施)の水準達成		
					()年度に ()の水準達成		
					()年度に ()の水準達成		
成果の達成状況							
	単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考	
事業成果指標	目標値1	路線	28.00	28.00	28.00	28.00	
	実績1	路線	19.00	24.00	26.00	28.00	
	= /	%	67.86	85.71	92.86	100.00	
	目標値2		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績2		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
	目標値3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業の実施内容							
平成18年度	舗装改良工事 2路線						
平成19年度	舗装改良工事 2路線 (中井通り 期) (新宿中央公園公園小橋通り 2期)						

部名称		みどり土木部		課名称		道路課	
		単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
トータルコスト	事業費	千円	178,263	221,220	67,607	51,501	
	人件費	千円	50,028	50,028	49,680	49,560	
	事務費	千円	437	476	524	0	
	減価償却費等	千円	0	0	0	0	
	総計 = + + +	千円	228,728	271,724	117,811	101,061	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	純計 = -	千円	228,728	271,724	117,811	101,061	
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
財源内訳	一般財源 = -	千円	228,728	271,724	117,811	101,061	
	特定財源		0	0	0	0	
	一般財源投入率 /	%	100.00	100.00	100.00	100.00	
職員	常勤職員	人	6.00	6.00	6.00	6.00	
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00	
事業に関する検討課題							
<p>歩行者の安全確保や安心して歩ける歩行空間を確保するためには、本事業による舗装や道路施設の老朽化による更新だけでなく、電柱の地中化をはじめ、荷捌駐車帯の設置等、歩道の有効幅員の確保、街路樹のあり方などを、沿道をはじめ関係機関との協議や合意のもと進めていく必要があります。</p>							
評価基準に基づく評価と理由 「3.2.1」の3段階評価です。	達成度	3	計画通り2路線を実施し、中井通りについては、排水性(低騒音)舗装を実施しました。				
	実施の成果	3	舗装構造のレベルアップは、良好な道路空間を生み出しました。さらに、排水性舗装の実施は通過車両の騒音の低下に加え、排水効果により水跳ねを押さえ、ドライバーの視認性を高めるといった効果もあります。				
	効率性	3	老朽化による舗装の全面打ち換え時期に合わせて、低騒音効果のある排水性舗装を実施しました。				
	行政の関与	3	道路管理者の責務として、舗装の打ち換えを自ら実施するのは妥当です。				
	妥当性	3	舗装構造をレベルアップし良好な道路空間を形成することは、安全で快適な道路を整備することにつながります。また、年々改良工事を実施して改良路線を増やしていくことは、目標達成のための方策として妥当です。				
	施策寄与度	3	舗装のレベルアップを実施したことで、安全かつ快適な道路空間が形成され、人にやさしい道路・交通施設の整備推進に寄与しました。				
総合評価	平成19年度には、中井通りの第1期改良工事を計画通りに実施したことから、評価をBとしました。 また過去3年間の実績では、B評価としています。環境に配慮した排水性舗装の整備は、老朽化による全面的な舗装の打ち換えと併せて効果があったと評価できます。さらに、津の守坂通りでは同時に歩道を拡幅し、歩行者の歩きやすさの向上とバリアフリー化にも寄与しました。						B
							過年度評価 18年度 B 17年度 B 16年度 B 15年度
改革方針	この事業は第一次実行計画「6.9 道路の改良」で引き続き取り組んでいきます。道路改良は、地球環境、景観、バリアフリーなどの観点を念頭に置きながら進めていくために、道路の利用状況、社会情勢、沿道住民の要望等、広い視野に立って進めていく必要があります。また、舗装のレベルアップだけでなく、歩道の拡幅など安心して歩ける歩行空間を確保できるよう、関係機関も含めた検討協議を進めます。さらに、新たな材料の施工後について検証を行い、効果の把握に努めます。						方向性 1
							現状のまま継続